

平成 30 年度一般廃棄物処理施設の維持管理状況の情報の公表

設置者名	紀北町長 尾上壽一
施設名称	海山不燃物処理場
設置場所	北牟婁郡紀北町船津 349 番地 1
問合せ先	0597-36-1313

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「法」という。）の規定に基づき、維持管理に関する情報を公表します。

**廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報**

環境省令の該当する号	施設の種類	公表事項
第四号	一般廃棄物の最終処分場	以下のとおり

イ 埋め立てた一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

一般廃棄物の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
不燃ごみ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

ロ 最終処分基準省令第一条第二項第七号の規定による点検に関する次に掲げる事項

項目	点検を行った年月日	点検を行った結果	擁壁等が損壊するおそれがあると認められた場合	
			措置を講じた年月日	講じた措置の内容
埋め立てる一般廃棄物の流出を防止するための擁壁等	平成 年 月 日		—	—

ハ 最終処分基準省令第一条第二項第十号及び第十四号ハ並びにダイオキシン類対策特別措置法に基づく廃棄物の最終処分場の維持管

理の基準を定める省令（平成十二年総理府厚生省令第二号。以下「維持管理基準省令」という。）第一条第一号及び第三号口の規定による水質検査に関する次に掲げる事項

埋立処分開始後（地下水）

地下水の水質検査	基準	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
カドミウム	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.0003 mg/L 未満
全シアン	検出されないこと。	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.1 mg/L 未満
鉛	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.001 mg/L 未満
六価クロム	一リットルにつき〇・〇五ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.01 mg/L
砒素	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.001 mg/L 未満
総水銀	一リットルにつき〇・〇〇〇五ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.0005 mg/L 未満
アルキル水銀	検出されないこと。	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.0005 mg/L 未満
有機リン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.1 mg/L 未満
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.0005 mg/L 未満
セレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.001 mg/L 未満
トリクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.001 mg/L 未満
テトラクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.0005 mg/L 未満
ジクロロメタン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.002 mg/L 未満
四塩化炭素	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.0002 mg/L 未満
一・二―ジクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇四ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.0004 mg/L 未満
一・一―ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.002 mg/L 未満
一・二―ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇四ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.004 mg/L 未満
一・一・一―トリクロロエタン	一リットルにつき一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.0005 mg/L 未満
一・一・二―トリクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.0006 mg/L 未満
一・三―ジクロロプロペン	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.0002 mg/L 未満
ベンゼン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.001 mg/L 未満
シマジン	一リットルにつき〇・〇〇三ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月16日	0.0003 mg/L 未満

チウラム	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月8日	0.0006 mg/L 未満
チオベンカルブ	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月8日	0.002 mg/L 未満
一・四―ジオキサン	一リットルにつき〇・〇〇五ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月8日	0.005 mg/L 未満
クロロエチレン	一リットルにつき〇・〇〇〇二ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月17日	平成30年8月8日	0.0002 mg/L 未満
<p>「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回することをいう。</p> <p>最終処分場の周縁の地下水の汚染の有無の指標として電気伝導率及び塩化物イオンの濃度を用いることが適当でない最終処分場にあつては、六月に一回以上測定すること</p> <p>埋め立てる廃棄物の種類及び保有水等集排水設備により集められた保有水等の水質に照らして地下水等の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。</p>					

埋立処分開始後（地下水 上流側）

	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質監査の結果	
				電気伝導率 (m S/m)	塩化物イオン (mg/L)
4月	ポンプ No1	平成30年4月13日	平成30年5月9日	9.8	—
5月	ポンプ No1	平成30年5月11日	平成30年5月22日	10.1	—
6月	ポンプ No1	平成30年6月8日	平成30年6月26日	10.1	—
7月	ポンプ No1	平成30年7月17日	平成30年8月16日	9.4	—
8月	ポンプ No1	平成30年8月3日	平成30年8月21日	10.0	—
9月	ポンプ No1	平成30年9月7日	平成30年9月21日	11.1	—
10月	ポンプ No1	平成30年10月5日	平成30年10月20日	11.3	—
11月	ポンプ No1	平成30年11月2日	平成30年11月12日	8.9	—
12月	ポンプ No1	平成30年12月7日	平成30年12月18日	8.1	—
1月	ポンプ No1	平成31年1月11日	平成31年1月26日	7.6	—
2月	ポンプ No1	平成31年2月8日	平成31年2月21日	8.0	—
3月	ポンプ No1	平成31年3月1日	平成31年3月12日	8.8	—

最終処分場の周縁の地下水の汚染の有無の指標として電気伝導率及び塩化物イオンの濃度を用いることが適当でない最終処分場にあつては、六月に一回以上測定すること  
埋め立てる廃棄物の種類及び保有水等集排水設備により集められた保有水等の水質に照らして地下水等の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。

埋立処分開始後（地下水 下流側）

	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質監査の結果	
				電気伝導率 (m S/m)	塩化物イオン (m g/L)
4月	ポンプ No2	平成30年4月13日	平成30年5月9日	15.0	—
5月	ポンプ No2	平成30年5月11日	平成30年5月22日	11.7	—
6月	ポンプ No2	平成30年6月8日	平成30年6月26日	13.2	—
7月	ポンプ No2	平成30年7月17日	平成30年8月16日	9.6	—
8月	ポンプ No2	平成30年8月3日	平成30年8月21日	11.5	—
9月	ポンプ No2	平成30年9月7日	平成30年9月21日	11.0	—
10月	ポンプ No2	平成30年10月5日	平成30年10月20日	11.7	—
11月	ポンプ No2	平成30年11月2日	平成30年11月12日	10.9	—
12月	ポンプ No2	平成30年12月7日	平成30年12月18日	9.7	—
1月	ポンプ No2	平成31年1月11日	平成31年1月26日	8.5	—
2月	ポンプ No2	平成31年2月8日	平成31年2月21日	16.6	—
3月	ポンプ No2	平成31年3月1日	平成31年3月12日	23.2	—

最終処分場の周縁の地下水の汚染の有無の指標として電気伝導率及び塩化物イオンの濃度を用いることが適当でない最終処分場にあつては、六月に一回以上測定すること  
埋め立てる廃棄物の種類及び保有水等集排水設備により集められた保有水等の水質に照らして地下水等の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。

埋立処分開始後（河川水）

地下水の水質検査	基準	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
カドミウム	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.0003 mg/L 未満
全シアン	検出されないこと。	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.1 mg/L 未満
有機リン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.1 mg/L 未満
鉛	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.001 mg/L 未満
六価クロム	一リットルにつき〇・〇五ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.01 mg/L 未満
砒素	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.001 mg/L 未満
総水銀	一リットルにつき〇・〇〇〇五ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.0005 mg/L 未満
アルキル水銀	検出されないこと。	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.0005 mg/L 未満
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.0005 mg/L 未満
セレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.001 mg/L 未満
トリクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.001 mg/L 未満
テトラクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.0005 mg/L 未満
ジクロロメタン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.002 mg/L 未満
四塩化炭素	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.0002 mg/L 未満
一・二—ジクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇四ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.0004 mg/L 未満
一・一—ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.002 mg/L 未満
シス—一・二—ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇四ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.004 mg/L 未満
一・一・一—トリクロロエタン	一リットルにつき一ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.0005 mg/L 未満
一・一・二—トリクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.0006 mg/L 未満
一・三—ジクロロプロペン	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.0002 mg/L 未満
ベンゼン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.001 mg/L 未満
シマジン	一リットルにつき〇・〇〇三ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.0003 mg/L 未満
チウラム	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.0006 mg/L 未満
チオベンカルブ	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下	船津川	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.002 mg/L 未満
一・四—ジオキサン	一リットルにつき〇・〇〇五ミリグラム以下	地下集水ポンプ	平成30年7月13日	平成30年8月8日	0.005 mg/L 未満

「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。

最終処分場の周縁の地下水の汚染の有無の指標として電気伝導率及び塩化物イオンの濃度を用いることが適当でない最終処分場にあつては、六月に一回以上測定すること

埋め立てる廃棄物の種類及び保有水等集排水設備により集められた保有水等の水質に照らして地下水等の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。

## 二 最終処分基準省令第一条第二項第十一号及び維持管理基準省令第一条第二号の規定による措置に関する次に掲げる事項

項 目	原因の調査	措置を講じた年月日	措置の内容
水質検査の結果、水質の悪化（その原因が当該最終処分場以外にあることが明らかであるものを除く。）が認められた場合	—	—	—

## ホ 最終処分基準省令第一条第二項第十九号の規定による測定を行った年月日及びその結果

項 目	測定を行った年月日	測定を行った結果
残余の埋立容量の測定	平成 30 年 3 月 31 日	20 m <sup>2</sup>